

保育所 公表日 R8.3.1

作成者:施設長 江瀬 武雄

※ 今年度のえぶち保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入する。

・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
項目毎ごとに意見・改善策があれば記述する。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する

項目

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容					意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			昨年度からの職員の入れ替わりや新入職員の採用に伴い、改めて園の保育について考えた一年であった。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			疑問や課題点について、改善に向け日々話し合い、週末会議等で共有を図った。また、保育士自己評価を行い面談等の時間を設け、保育の目標や振り返りを行った。
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			分園と本園で園舎が離れている分、保育の実態が共有しづらいことが課題であり、次年度は園の目標について全職員と考えを深められる場を設ける努力をし、園全体で質の高い保育に向け動いていきたい。
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			0～2歳児は、一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、限られた物的、人的環境の中で子どもたちが安心して遊びに夢中になれるよう工夫した。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			3～5歳児は、子どもたちが得意なことや好きなことを見つけ、更なる自信に繋がるように肯定的な関りを意識し、遊びや生活環境を見直した。各クラス、遊びや会話の幅が広がり、活動に対して意欲的に取り組む姿が増え、変化が見られている。
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			今年度は新たにカワイのリトミック、体操を導入し、外部講師の指導法を保育の中でも活かせるよう務めた。
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。			○		次年度もより良い保育のために、園全体で保育について共有を深め具体化していきたい。
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1)1日の流れ(デイリー プログラム等)は現行でよいか。		○			食事や午睡時間について見直し、遊びの時間をより多く取ることが出来るように年度途中に見直しを行い実行している。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			保護者参加行事である親子フェスティバルやお楽しみ会の開催にあたり、リーダー保育士を中心に内容を見直し充実化を図った。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		○			また、毎年全学年保育参観、個人面談もを行い、英語や誕生会の見学も3～5歳児は自由参観とし日々の成長を気軽に見学できるよう努めている。
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			0,1歳児は前年度同様に親子ピクニックを3月に開催し、子どもの成長を保護者間や担任と共有できる場としている。
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			その他にも季節の行事やクッキング、SDGsなども行い、学びの多い時間となるよう努めている。園内イベントの全てを保護者参観にできない分、活動の様子を写真にて掲示し様子を伝えている。
						アンケート結果をもとに、次年度更に改善に努めたい。

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			適材適所の人材配置とし、人員数も基準より厚く配置している。 次年度も職員それぞれの力を十分に発揮できるよう、得意分野を活かし互いに補い合いながら更に協力、連携していきたい。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			園の会議は、午睡時間帯に集まり、毎週おこなっている。全職員がPC内でも全てを共有できるようにしている。また、一度の話し合いでの充実度と効率化を高めるために引き続き努めたい。 法人全体の会議は効率化と充実度を上げるために参加職員全体で意識し、改善していきたい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			ワンフロアの園舎のため、常に異年齢児保育をおこなっている。学年関係なく、遊びを展開し、年下の子どもを可愛がる姿や、年上の子どもに憧れを抱き、真似てみたりと良い関係を築けている。 しかし、子どもの声や生活音が弊害となりやすい環境でもあるため、今年度はクラス間で活動内容を共有し、連携を取るようにしたが、課題は残る。 次年度も0～5歳児までのクラス全体が連携し合い、6年間という長い見通しを考えた上で、連続性のある丁寧な保育教育を展開できるよう、意識したい。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○		
(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。				○			
保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。		○			保健、安全関係については、適宜タイミング通り実施している。 次年度も日々の生活の中でも職員が気づいたタイミングや子どもの気づきに応じて、丁寧に指導して行けるよう園全体として心がけていきたい。	
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○				
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○			
研究・研修	所内	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。			○		午睡の場や毎週末の会議の場を利用し、社会人マナーについて、保育やその他の課題点など研修として話し合いを行ったり、外部研修の報告等を行っている。 また、救急対応研修も行い、緊急時に備えられるよう努めている。 今年度は日々の保育に集中し、新しく園内研修を設定することができなかった。保育や虐待、障害児、配慮児についての知識や対応についての理解を深めるために次年度は実現に向けて動きたい。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。			○		
	所外研究・研修	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○		
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○		
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。			○		年間120回ほど実施し、可能な限り研修には参加している。 外部研修の報告を更に職員で共有し、保育に活かせるよう努めたい。	
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。			○		個人情報保護規定を設定し取り扱っている。 書類及び記録等の個人情報内容は事務室や鍵付きの棚、部屋等での保管となっている。 面談では個室やパーテーションを使用し対応しているが、日々の降園時の口頭伝達時には狭い環境下の中でどのように配慮すべきか課題が残るため、検討を続けたい。	
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			安全点検リストを基に実施している。 今年度は子どもたちの遊びの広がりから追加で玩具を購入したが、狭い環境下の中で、収納棚の設置に課題が残っているため、引き続き改善に向けて。 不審者対応訓練を年1回おこない、訓練内容をもとに話し合いをし、対策に努めている。 保護者への掲示物に関しては新しい物には目印をつけ、口頭でも声を掛ける等見てもらえる工夫を行い、職員には共通PC内での共有や会議等での重要ヶ所の伝達を行い、周知の徹底に努めている。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○			
	(3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○				
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			適正、適切に処理を行っている。	
開かれた保育所づくり	施設交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○		姉妹園と連携を取り法人内で同学年交流を適宜おこなっている。 また、5歳児に関しては接続カリキュラムを通して近隣小学校との交流を深め、近隣保育園との交流や公開保育への参加を通じて就学を見据えた年齢の子どもへの保育、教育への共通理解を深めた。 園内でも異年齢児同士で交流する機会を設け、担任とは異なる視点からの保育への気づきを大切に、日々の保育教育に活かすことができた。	
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3)指導者同志が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。			○		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
家庭や社会との地域連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			月1回地域の高齢者との異世代交流や西谷商店街のご協力のもとハロウィン会を実施している。今年度も地域の方を園行事のお楽しみ会や卒園式に招待した。	
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		戸外活動の際には、積極的に地域の方に挨拶をすることを心掛けている。 地域支援連絡会にも参加し、近隣施設や民生委員との顔見知りの関係性作りをおこない、園の活動を知っていただけるよう努めた。	
	(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		参観日以外にも英語、誕生会など保護者の方が見学する機会を設け、集団での子どもたちの姿を共有することができた。	
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開 か れ た 保 育 所 の 進 展	子	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		当園では園庭開放の代わりに保育園体験とし、交流保育を行っている。 その他にも園行事やリトミックなどに参加できる機会を設け、今年度は複数名からの問い合わせで実施できた。 園見学対応の際には、近隣の有益な情報や子育て相談含め、育児支援の場にもなるよう努めている。 今年度は一時保育の受け入れを積極的におこなうよう努めた。今後も地域との交流保育をより充実できるよう、更なる工夫や内容検討を行いたい。 在園児の保護者支援や子育て相談については、降園時の保護者とのやり取りの中や、内容によっては面談の場を設けるなどして適宜おこなっている。 専門機関との連携には力を入れており、実際に来園してもらったり、園職員が施設見学や研修に参加し、必要な情報を保護者に伝えている。
	育	(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○		
	支	(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
	援	(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
	の	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情 報 の 発 信	情報 の 発 信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○		HP上に各種おたよりを発信し、その他にも必要書類をダウンロードできるようにしている。 地域に向けては、子育て支援情報誌への情報提供や、小学校へのあったか食堂の周知や地区センターのHPや掲示物での発信をおこなっている。	
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		地域支援連絡会でも同様に、園行事や活動内容を口頭やチラシの配布で周知をおこなっている。	
	外 部 評 価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		横浜市の監査や第三者評価での内容を受け、更なる改善に向けて園運営や、保育教育に反映させている。	
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○	保護者や地域からの意見に関してはアンケートや会話の中での意見を基に改善、反映できるよう努めている。	
次 年 度 へ 向 け て の 考 察	<p>今年度は保育改善に重点を置き、子どもたちの遊びの探求心が深まるように、新しく玩具を追加したり、使用ルールにも幅を持たせ、継続的に遊びを展開できる環境となるよう努めた。</p> <p>また、子どもたちが様々な遊びを通して、好きなことや得意なことを見つけ、楽しさや喜びを周りと共有できるように、必要なタイミングで声を掛けられるように見守った。</p> <p>始めのうちはそれほど変化は見られなかったが、年度の後半にかけ、子どもたちの想像性に変化が見られ、遊びが広がっていくことを実感できた。</p> <p>また、遊び以外にも様々な活動に対して意欲的に取り組むようになり、子どもたちそれぞれが、自分に自信をつけている様子が見て取れた。</p> <p>職員自身も子どもたちの変化を目の当たりにし、自己肯定感の高まりが非常に大切であることを改めて再認識し、保育の楽しさを実感することができ、子どもの育ちを通して、喜びを保護者や職員間で共有できたことがなにより次への意欲に繋がったように思う。</p> <p>今後も引き続き、より良い質の高い保育・教育に向け職員一同で取り組んでいきたい。</p> <p>保育以外にも、えぶち保育園の環境下ならではの保護者支援、地域支援とは何か、今後新たにどのようなことができるか等含め、職員全員で検討していきたい。</p> <p>次年度も固定概念に縛られることなく、自由な発想を大切に職員一人ひとりが十分に力を発揮し、あたたかい笑顔あふれる園にしていきたい。</p>						